

2016年度（第18回）学生懸賞論文「女性学インスティテュート賞」
審査結果

応募総数 4 編
最優秀賞 該当なし
優秀賞 2 編

- 1) 藤谷彩華氏 本学文学部総合文化学科卒
1920年代から30年代までの娼婦運動
- 2) 溝口彩香氏 本学文学部英文学科卒
本学大学院文学研究科英文学専攻在籍
‘Power, Gender and Language in Edith Wharton’s *The House of Mirth*’
(イーデリス・ウォートンの『歓楽の家』における権力、ジェンダー、言語)

女性学インスティテュート委員会で審査・検討の結果、応募論文中、上記2点について「学生論文としては一定の水準を満たしており、要旨の掲載に相応しい」との総意を得ましたので、「優秀賞」とすることに決定しました。

女性学インスティテュートディレクター

津 上 智 実